

Plan 17 壮観!数万羽のマガンの ねぐら入り・飛び立ちをみる

マガンは天然記念物に指定されている渡り鳥で、冬になると繁殖地のシベリアから日本全国に約10万羽が渡ってくるが、なんとその9割が宮城県北部の平野で越冬する。大崎市には田尻地区蕪栗沼・周辺水田と、古川地区化女沼の2箇所、ラムサール条約登録地があり、11～2月にかけてマガン、ヒシクイ、コクガンなどが羽根を休める風景が見られる。なかでも迫力があるのは夕方の「ねぐら入り」と朝の「飛び立ち」。夕方には各方角から蕪栗沼目指して飛来する数万羽のマガン達がねぐら入りにやってくる。朝は一斉に数万羽のマガン達が飛び立つ風景がほぼ毎日の営みとして見られる。このツアーでは、専門家の説明を聞きながら蕪栗沼での大迫力のねぐら入りを観察。また古川市内のホテルで一泊し、翌朝化女沼での飛び立ちを観察する。

<ご案内>ねぐら入り、飛び立ちも自然現象のため、天気その他の要因により、ご覧いただけない場合があります。

■実施期間:平成25年11月～平成26年2月 第2・4土曜 ※要予約 ■料金:13,000円 ■集合場所:古川駅
■添乗員:同行しない ■食事条件:朝1、昼0、夕0 ■最少催行人員:6名様

※本コースは(一社)みやぎ大崎観光公社が企画・実施する募集型企画旅行です。お申込みに関しましては70ページの旅行条件書を必ずお読みください。
※日程は予定です。実際の行程は出発前にお渡しする最終日程表をご覧ください。



▲蕪栗沼・化女沼では毎朝夕に大迫力のショーが展開される。



▲マガンのほか、ヒシクイ、コクガンが周辺田んぼのいたるところで羽を休めている。

日程

[1日目]

16:00～17:00 田尻・蕪栗沼
ねぐら入り観察

夕食

市内ホテル宿泊
(プラザホテル古川またはパルビューザ・ホテル 三本木)

[2日目]

5:00 ホテル出発

5:30～6:00頃 化女沼にて飛び立ち観察

Plan 16 再生可能エネルギーの勉強&温泉熱を使って乾燥生姜をつくろう! エネツーリズムを知ろう!

食べ残しを、微生物と温泉熱を利用してメタンガスにしてガス灯を灯す。温泉熱を利用して乾燥野菜を作る。鳴子温泉ではこのような先進事例に取り組み中。宿泊しながら楽しく再生エネルギーについて考えてみよう。

- 実施期間:通年
(GW、お盆期間、年末年始を除く)
※要予約
- 場所:早稲田栈敷湯・湯めぐり駐車場
(鳴子温泉)
- 料金:12,800円(休祝前日は+2,000円)
- 宿泊旅館:大正館、弁天閣、大沼旅館、
旅館ゆさ
- 食事条件:朝1、昼1、夕1
- 備考:4～10名様



▲食べ残しをプラントに投入。



▲メタンガスでガス灯を点灯。



▲2日目『たかはし亭』でのランチ(イメージ)。



▲乾燥ショウガ
(イメージ)。

日程

[1日目]

13:00 スライスした生姜を乾燥室へ

14:00 終了後 チェックイン

—宿泊—

[2日目]

午前中は湯巡り、
ショッピングなど自由行動

12:00 たかはし亭で昼食

13:30 温泉熱利用の
メタンガス発酵装置見学説明

14:00 生姜を取り出して、ミルで挽いて、
瓶に詰めて、完成!

終了後解散